



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第 103 号
平成 28 年 11 月号

『東アジア・大洋州地区日本人学校の 皆様が授業参観！』

秋の季節になると、「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」という言葉が連想されます。日本ではプロ野球日本シリーズが開幕。広島カープ対日本ハムファイターズの熱戦（広島2勝：日ハム2勝）が繰り広げられています。

本校の学校運営委員長田川様は、広島県ご出身で熱烈なカープファンとお聞きしています。優勝チームはどちらになるかとても楽しみです。（10月26日現在）



10月20日(木)。文部科学省、外務省、海外子女教育振興財団、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会、そして東アジア・大洋州地区日本人学校長会の校長先生と配偶者の皆様、約80名が本校を訪問されました。



平成20年に開校した本校の校舎、体育館、グラウンドなどを案内し、ランチルームで学校概要について説明しました。小さな学校の特徴として、家族のような楽しい学校の取り組みを紹介しました。大規模校のバンコク日本人学校(小中2,703名)から小規模校のコタキナバル日本人学校(小中16名)までの

校長先生方は、各教室の授業を熱心に参観され、教室の掲示物にも興味をひかれていました。文部科学省や外務省の方々には子どもたちが熱心に学ぶ姿に感動されていました。4校時の児童生徒発表では、体育館で校歌斉唱と杭州踊りを鑑賞していただきました。一生懸命に歌い踊る杭州っ子たちの姿を見て、感動して涙ぐむ先生方もいらっしゃいました。2台のバスを見送る子どもたちが最後まで大きく手を振る姿はとても印象的でした。



10月23日(日)。黄龍スポーツセンターフットサルコートで少年サッカー大会が行われました。本校からも児童生徒がチームを編成して参加しました。杭州市内の地元少年サッカーチームが集い、楽しいスポーツ交流ができました。8チームが参加、杭州っ子チームも全員サッカーで大活躍しました。各試合で上位チームと互角に渡り合う展開でしたが、残念ながら成績は6位。来年への決意も新たに、午後7時30分から杭州绿城FCスーパーリーグ観戦を楽しみました。保護者の皆様に感謝申し上げます。

